平成 28 年度矢臼別演習場周辺まちづくり構想住民大会

開催日時：平成 29 年 2 月 19 日（日）午後 1 時 00 分～午後 3 時 30 分

開催場所：別海町中央公民館　大集会室

出席人数：38 名

＜会議次第＞

１　開　　会

２　副町長挨拶

３　まちづくり構想について（事業説明）

４　講演「複合化、多機能化の施設づくりとにぎわいのまちづくり～つながり、ささえあい、はぐくむ創造交流のまちづくり～を目指して」

５　ワークショップ及び意見交換

６　閉　　会

１　開　　会（司会　総合政策課長）

２　副町長挨拶

３　事業説明（まちづくり構想について）

（事務局）

本日は、皆さんお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。総合政策課の角川と申します。簡潔な説明となるよう心掛けたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、後ほど今年度策定を進めているまちづくり構想の基本計画原案について概要を説明させていただきますが、はじめに、まちづくり構想の全体像などについて簡単に説明をさせていただきたいと思います。

はじめに、まちづくり構想策定の経緯についてですが、「１　関連事項の取り組み状況」として、町では、別海地区に所在する中央公民館及び給食センターの老朽化に伴い、建替えを検討してきました。その中、老朽化した中央公民館の代替となる（仮称）生涯学習センターの建設基本構想を、町民で組織した委員会を設置して検討を進めました。また、町の中心的な市街地である別海地区において、空き地や空き店舗が目立つようになってきたことや、昭和４０年代から５０年代に設置された公共用施設の老朽化への対策のため、平成２６年１１月に「別海町市街地活性化計画（別海地区）」を策定しております。老朽化した施設の建替えについては、補助事業を検討する中、防衛省所管の「まちづくり事業」について、協議を進めております。

続いて、「２　防衛省所管の「まちづくり事業」」とはどのようなものなのか、ということですが、特定防衛施設関連市町村が住民の需要及び防衛施設の存在、自然環境、歴史、文化等の特性を踏まえつつ、障害の緩和に資する施設の整備を通じて「防衛施設の存在を前提としたまちづくり」を行う場合に補助対象となる

というものです。なお、構想策定には２年から３年を要するとともに、防衛施設を活用したまちづくりのコンセプトが重要となります。

下の方の図に、「まちづくり事業の流れ」を記載しておりますが、端的に言えば、「基本構想」「基本計画」「実施計画」からなる「まちづくり構想」を策定し、その構想に位置づけた施設を、矢印の右側に記載している「まちづくり支援事業」として、高い率の補助金を活用して、施設整備ができるというものとなっております。 本町では、この「まちづくり事業」を活用して、施設の整備を進めることとしております。

続きまして、「１　まちづくり構想の策定について」ということですが、本町に所在する矢臼別演習場の運用によって生じる障害と地域づくりの制約に対して、今後計画的に対策を講じることで、障害の緩和と安心安全なまちづくりを進めるため、「矢臼別演習場周辺まちづくり構想」を策定します。

本町の中心的市街地である別海地区を構想対象エリアに設定し、災害対応力の強化、市街地の活性化の一助とすべく、防衛施設の存在を活用することを前提とした施設整備を念頭に検討していくこととしております。

続いて、「２　検討体制」については、役場の内部では、関係部署などによる横断的な検討体制を構築し検討するとともに、本構想が町民生活に直接影響のある内容であることから、町民参加機会を実施して意見をいただくこととしております。本日は、町民参加機会の１つとして、「住民大会」を開催させていただいている状況でございます。ただいま説明させていただいた検討体制について、図にまとめたものとなっております。このような体制で構想策定を進めております。

続いて、「３　計画策定期間」についてですが、平成２７年度から２９年度までの３年間かけて策定を進めることとしており、年度進捗の図を見ていただくと、平成２７年度は「基本構想」、平成２８年度は「基本計画」、平成２９年度は「実施計画」を策定し、その後、施設整備を進めることとしております。

続いて、各年度において、どのような内容となるかについて記載したものとなります。平成２８年度は「基本計画」となりまして、「形以外の基本的事柄を決める段階」として、「施設整備計画」などを定めることとなります。

以上、簡単ではございますが「まちづくり構想」の全体像などの説明とさせていただきます。

それでは、今年度策定を進めるまちづくり構想の「基本計画」。現在「原案」について、パブリックコメントを実施しておりますが、その原案について説明をさせていただきます。

本日、住民大会の資料として、「基本計画　原案」の概要版を皆さんにお配りしております。スクリーンの方が見づらいようであれば、概要版の方を見ながら説明を聞いていただければと思います。

「はじめに　～まちづくり構想策定の経緯と目的について」は、これまでの説明と重複しますので、説明を割愛させていただきます。

続いて、「１　矢臼別演習場周辺まちづくり構想（基本計画）の基本的事項」です。本町の中心的市街地である別海地区に所在し、町民の文化・芸術活動の拠点となっているここ中央公民館は、建設から４５年以上が経過し、早急な改築が求められております。また、別海地区の中心市街地では、賑わい不足、空き店舗や閑散地への対応が必要となっております。これらの現状を踏まえて、別海地区において、町民と自衛隊のみならず、多世代交流を一層促進し、災害に強いまちづくりに取り組むこととしております。

続いて、「２　基本計画の進め方」についてですが、矢臼別演習場周辺まちづくり構想の基本理念である「～つながり、ささえあい、はぐくむ、創造交流のまちづくり～」の実現に向け、基本方針を具現化するための取り組みとして、基本計画ではその核となる施設整備を検討することとしております。

続いて、「３　施設整備計画」、「(1) 基本方針」です。こちらについては読み上げさせていただきますが、本構想の基本理念の実現に向けた核となる施設整備について、様々な交流を通じて、つながり支え合う関係を育む場所として交流拠点となる「(仮称) 生涯学習センター」と、災害時の備蓄や応急食料を供給する場所として防災拠点となる「防災食育センター」の２施設として検討を進めました。両施設ともに、早期に整備することを目指し検討を進めましたが、同時に整備することは難しく、後から整備する施設は、稼動までに相当年数を要することが見込まれる状況となりました。これまでの本構想策定や平成２５年度に設置しました「(仮称) 生涯学習センター建設基本構想策定委員会」などにおいて、多くの町民の方から「(仮称) 生涯学習センター」の建設に係る意見をいただいており、本構想の基本理念も踏まえて、本構想では「(仮称) 生涯学習センター」の検討を優先的に進めることとし、「防災食育センター」については、平時の使用方法となる学校等への給食を供給する施設として、別に整備を検討することとしました。

また、「(仮称) 生涯学習センター」には、中央公民館の代替としての機能や、多世代交流を育み、災害時には避難所やボランティアの活動拠点としての機能を有することで、交流の創造やコミュニティづくりに寄与するとともに、安心安全な暮らしを支える施設となるよう、福祉関係機能、観光関係機能、防災関係機能についても一緒に検討しました。

観光関係機能については、観光案内所、地元農水産品を販売する物産館、レストラン、新たな雇用がうまれるチャレンジオフィス、チャレンジショップなどを含むスペースとして、設置効果向上のため「道の駅」に登録することを考慮し検討しました。しかし、「道の駅」登録の場合、開館時間などの施設管理上の問題が懸念されるため、観光関係機能は「(仮称) 生涯学習センター」とは別に整備することが望ましいと考えました。

以上のことから、本構想において整備を進める施設は、交流拠点となる「(仮称) 生涯学習センター」とし、導入機能は「公民館関係機能」、「福祉関係機能」、「防災関係機能」等とする。また、各機能の効率的な配置及び共有できるスペースの有効活用により面積の縮減を図り、住民同士のつながり支え合う関係を育むとともに、地域住民と自衛隊員等との交流促進を図る施策を展開するとしております。

本構想において、整備を目指す (仮称) 生涯学習センターについて、表した図となっています。機能としては、「公民館関係機能」と「福祉関係機能」、「防災関係機能」としております。

続いて、「（２）導入機能の概要と規模等」ということですが、(仮称) 生涯学習センターは、大きく「公民館関係機能」「福祉関係機能」「防災関係機能」「共有機能」で構成し、合計３，５００㎡程度の面積規模を想定します。

公民館関係機能では、中央公民館の機能を継承するものとして、ホール機能や和室、工作室、親子学習室、団体活動室などとしております。また、ホールについては、災害時の避難スペースとしての活用を想定し、平土間運用も可能とすること、また、客席数は、日常的な町民活動で使用することを想定し、その中で最も多くの人が集まる「別海町小中高校合同音楽祭」を最大とし、可動席を含む６００席程度と考えております。

福祉関係機能では、ボランティアセンターやボランティア団体の活動を総括する団体として、社会福祉協議会、別海町連合町内会を想定しておりますが、それらの事務室、ふれあい・いきいきサロンの機能を継承するものとして位置づけております。

防災関係機能では、本施設が災害時に避難所及び災害ボランティアの受入施設となることを想定し、防災倉庫を設け、備蓄機能を有するものとします。共有機能では、施設内の共同スペースとして、エントランスやギャラリー、会議室などを設置し、エントランスには、滞留機能としての「図書コーナー」や小さな子ど

もを遊ばせることができる「親子広場」の設置などを検討することとしております。

続いて、「（3）建設地の設定」ですが、（仮称）生涯学習センターの建設候補地を、町民のアクセスのしやすさや周辺施設との連携可能性、まちづくりへの波及効果などに考慮し、「ぷらと前広場周辺」及び「病院跡地」の町の中心部２か所、それぞれの敷地状況を比較検討し、建設地設定の考え方を整理しました。

下図の中に「ぷらと前広場周辺」と「病院跡地」を比較し、それぞれの敷地の評価を記載しております。

「（1）ぷらと前広場周辺」では、「交通のアクセシビリティが高い」ことや「公共施設間の連携可能性が高い」こと、「敷地が整形地ではないが、一区画が大きいため建物の配置や平面計画に自由度がある」ことなどでプラスの評価として、「駐車場の必要台数を確保することに制約がある」という部分でマイナスの評価としております。

一方「（2）病院跡地」では、「現状の中央公民館を避けて建築計画を立てることの制約が大きい」こと、「敷地の形状が縦長であるため、建物の配置や平面計画での制約となる」こと、「敷地内に高低差があり配置や平面計画に制約があるほか、敷地を確保するために擁壁等を設ける必要がある」こと、「駐車場の必要台数を確保することが難しく、来場者用と運営者用を別に設けることが困難である」ことなど、いずれもマイナス評価となっています。

以上のことから、新施設の建設地を「ぷらと前広場周辺」としております。

続いて、「（4）配置の考え方」ですが、（仮称）生涯学習センターは、近接する交流館ぷらとやマルチメディア館との連携にも考慮した配置を検討する。施設南側に、駐車場兼広場を設け、日常の駐車場としての利用だけでなく、イベントスペースや災害時避難場所など多様な使い方ができる空間を配置することを想定する。駐車場機能は、施設南側に加え、道道３６４号からのアクセスに配慮して施設北側にも配置することを想定する。施設整備にあたり、東西方向の既存道路を廃止するため、代替機能となる通り抜け道路を確保する。施設へのメインアプローチは南側道路からとし、資機材搬出入などのサービス動線は来館者のアプローチと交錯させないよう、北側駐車場・サブエントランスからとることを想定する。圧迫感を抑えた低層の施設とすることを基本とし、景観や周辺環境、隣接地に配慮する。また、近接して立地する交流館ぷらとやマルチメディア館との連携を考慮し、来年度策定する「実施計画」において具体的な諸室の規模を検討することとしています。これは、あくまでも現段階においての配置図としておりますので、ご了承いただきたいと思います。

続いて「（5）導入機能の活用計画」になります。（仮称）生涯学習センターの導入機能ごとの活用方法として、平常時、災害時、それから、「町民と自衛隊員等との交流促進のための検討を進める方策」の３つに区分して表にまとめております。平常時は、各種団体等が目的に沿って使用し、災害時には、避難所として、また、災害ボランティアの活動拠点として活用します。また、補助金の趣旨から「町民と自衛隊員等との交流促進のための検討を進める方策」としては、「自衛隊音楽隊の演奏会」や「災害派遣等の自衛隊活動の報告会や講演会」などを実施し、交流促進を図るとしております。

続いて、「４　管理運営」についてですが、施設の管理運営の考え方については、「交流の促進と施設の稼働率の向上」、「施設の利便性の向上」、「効果的な管理運営と維持管理費の縮減」の３点を設定しております。また、「検討課題」などについて記載しております。

続いて、「５　事業計画」については、「（1）資金計画」として、現段階での概算事業費と財源内訳について、イメージとして記載しております。また、事業スケジュールについても、平成２９年度以降は予定として掲載させていただいております。

以上、「まちづくり構想についての事業説明」となります。

なお、現在、パブリックコメントを実施しております。ここ中央公民館のほか、役場や支所・出張所、図書館やスポーツセンターなどに、資料を公表しております。是非、「まちづくり構想（基本計画原案）」をご覧いただき、ご意見をいただければと思います。

以上、簡単ではございますが事業説明とさせていただきます。

（事務局）

ただいま、本年度策定しています「基本計画」について、その概要についてご説明させていただきました。ご来場の皆さまから、これに関しまして何かご質問があればお願いしたいと思います。

（町民）

このような計画を策定するに当たっては、目的や意義があるからこのような建物が必要だということを検討した結果だと思いますが、どのように検討されてきたのかお聞きしたい。ニーズが無くて建物だけ先行するということはないと思うので。

（事務局）

まちづくり構想については、昨年度は基本構想、今年は基本計画となります。町としての状況については、先ほどご説明しましたとおり、中央公民館が老朽化して建替えが必要な状況等がある中で、昨年まちづくり構想の基本構想を通じて、別海地区市街地のまちづくりについて検討をし、その中で、町民で組織する住民懇話会や昨年も同じように住民大会を行いながら、どのようなまちづくりを進めていったらいいかということを、意見聴取させていただいています。

その中で、今後の別海地区を考えたときに多く出された意見としては、多世代交流やいろいろな方々が交流を深められるようなまちづくりができたらいいという意見をいただいている状況です。

そのようなことを踏まえながら、中央公民館の代替機能を含めて必要だというものを庁舎内の関連する部署で集り検討を進めて、また町民の方から意見をいただきながら今回このような形でまとめてきているという状況です。

（町民）

まず１点ですが、この公民館の建て直しということでしたが、将来のことを考えてやはりもう少し若い世代の人からの話を聞いた上で、構想を考えていただきたかったなと考えています。

それと、この図面を見させていただいて、建てる場所について大分苦労しているように私は思います。私の考えとしては、せっかく病院や特老も近くに整備されているので、現在の場所が一番良いのではないかなと考えています。

というのは、病院の跡地に施設を建てて、地下を駐車場や物置にすればいろいろ使えると思うし、駐車場も病院等と兼用にすれば、駐車場は広く使えるのではないかと考えています。

また、社会福祉協議会の建物もかなり古くなっています。なので、そこも一緒に入れて検討するようなことも考えていただきたいと思います。

（事務局）

まず１点目の若い世代の方の意見についてですが、今回の住民大会も一般に広く参加していただけるよう、新聞折込等を使い周知等行いましたが、あまり若い人が参加しないというのは、昨年の大会もそのような状況でした。また、町民参加機会である住民懇話会という会議の中では、全体で１５名委員がいますが、３０代の人が１名、４０代の人が３名というような形で会議に参加いただいています。

ただ、もっと若い人の意見を聴く機会をもったら良かったのではないかという意見に関しましては、今後検討してそういうような形ができるようにしていきたいとは考えております。

また、場所の関係に関しましては、比較検討の図に記載したとおりとなっており、２箇所で検討を進めましたが、旧病院跡地に関しましては、道道や国道からのアクセスの道路が狭いことなどもあり、また、ぷらと前広場周辺の方が商工業のにぎわいなどに関連付けてできるのではないかというようなことも踏まえて、場所を決めているという状況です。その辺ご理解いただければと思うところでございます。

社会福祉協議会については、基本計画原案の中では、社会福祉協議会の事務所も一緒に入れる形で検討を進めています。ただし、事業所は含めていないので、今後検討が必要だと考えているところです。

（町民）

できれば付け加えていただけたらと思うのですが、建物の中で親子学習室や親子広場というのが入っていて、小さい子ども用にはいろいろ考えられているようですが、中学生高校生が集えるような場所というのも、これからの町の活性化になると思いました。できれば付け加えていただきたいなと思います。

（事務局）

ただいまの質問ですが、来年度実施計画ということで、もっと詳細な部屋等の設定させていただくこととなりますので、今いただいた意見をその中でも少し参考にさせていただきながら。いずれにしても多くの方々が交流できるような、交流が活性化するような施設となるよう検討してまいりたいと思います。

４　講演「複合化、多機能化の施設づくりとにぎわいのまちづくり～つながり、ささえあい、はぐくむ、創造交流のまちづくり～を目指して

（ＫＩＴＡＢＡ神長）

皆さんこんにちは。今ご紹介いただきました株式会社ＫＩＴＡＢＡの神長と申します。よろしくお願いします。講演ということで緊張していますが、参考となりそうな事例を少しご紹介させていただきたいと思いますので、お気軽な気持ちで聞いていただければと思います。

それではちょっと長いですが、「複合化、多機能化の施設づくりとにぎわいのまちづくり～つながり、ささえあい、はぐくむ、創造交流のまちづくり～を目指して」ということで、少しお話させていただきます。

冒頭にご質問された方のお話にも少しありましたように、やはりよく失敗するのは、ハード整備だけで終わってしまって、その後、周りの施設だとかとつながらず、残念な結果になる公共施設がたくさんあります。別海町は、周りにぷらとだったり、病院も離れてはいますが、この距離って歩いて来れる距離ですよね。すごくコンパクトにまとまっている市街地ではないかなと思っています。ですので、余計いろんな施設とつながっていくというのが大事なのだろうなと思っています。

構想の経緯をもう１回ご紹介しますと、「第６次別海町総合計画」を平成２１年に策定し、平成２６年に見直ししています。この今回の計画と関連するところを簡単におさらいしますが、平成２６年に「別海町市街地活性化計画」というのを、別海地区に絞って策定していますが、そのときに３つの方針が示されています。「豊かな地域生活の持続」、「地域活動の主役をつくる」、「魅力ある商業施設と環境の創出」の３本柱で計画が策定されています。そしてこれの実現を果たすために、「矢臼別演習場周辺まちづくり構想」を昨年度から取り組んでいて、昨年度は「基本構想」、そして今年度「基本計画」、来年度「実施計画」という内容になっているということです。あくまでも、これは単なる施設の整備だけではなくて、こういう３本柱を実現する手立ての１つとして、今回の計画があるとお考えいただければと思います。

平成２７年の「矢臼別演習場周辺まちづくり構想」の中では、「～つながり、ささえあい、はぐくむ、創造交流のまちづくり～」というものを基本理念にして、７つの方針が立てられました。「町民がつながり地域を支える関係づくりを目指します」、「災害時の対応力強化に資する体制の整備を町民活動と共に図ります」、「子供から高齢者まで多世代が交流できる場づくりを目指します」、「地域のものを地域で消費でき、町民の買い物を支える場を創造します」、「別海で暮らし続けるための雇用環境の改善を図ります」、「町民が集い、憩うための拠点機能（公民館機能）の充実を図ります」、「市街地のコンパクト化を目指した、効率化と複合化の公共機能整備を進めます」ということで、先ほど申し上げた３本柱のほかに、それを実現させる手立ての１つとして、今回の（仮称）生涯学習センターの検討というのがあるという位置付けになっています。

それで、先ほど説明があったように、平常時、災害時、それから（仮称）生涯学習センターの機能としては公民館機能と福祉関係機能、防災関係機能というものを盛り込むという内容になっています。それで、先ほども説明がありましたが、ぷらと前広場は、駐車場兼広場として維持し、道路は廃道にしてここにまたがる形で(仮称)生涯学習センターを配置するという考えでいます。これは皆さんの方が詳しいと思いますが、この辺は周辺施設がこの辺多いですよね。ぷらと、それからマルチメディア館の関係というのを考えていかないと、またハード整備しただけでは片手落ちという表現は正しくないですが、せっかく造る建物ですので、後半は皆さんと一緒にハード整備の内容もさることながら、まちとこの施設がどのようにつながっていったらいいのかということについて、意見交換していきたいと思っています。施設とまちがつながり合う関係はどうやったらできるんだろうということです。

それに参考になりそうな事例をこれから３つご紹介させていただきます。

１つ目は、熱海温泉に行かれたことがある方いらっしゃいますか。私は昨年初めて熱海に行ってきたんですけれども、ＮＰＯ法人ａｔａｍｉｓｕｔａというところが運営しているゲストハウスMARUYAというところを見てきました。このＮＰＯ法人ａｔａｍｉｓｕｔａというのは、２０代から３０代のUターン、Ｉターンの若い人たちが２００９年から活動を開始して、街歩きとかマルシェの開催を続けてきた団体です。地域の人が地域の良さを見直すことをやろう、それでさらに地域や観光客の交流ができたらいいねということで、滞在拠点づくりの１つとしてカフェやゲストハウスやシェアオフィスというのを自前で展開しています。古い建物の空き店舗だったところをリノベーションって最近流行っていますが、リノベーションしてゲストハウスにしています。面白いのは、ゲストハウスの向かいに干物屋があります。ちょっと外れたところに漬物屋があって、もう少し離れたところにかつお節のお店があります。それで、ゲストハウスでは基本的には朝食しか出さず、ご飯と味噌汁を３００円で提供するだけなのです。それで面白いのは、地元のかつお節で出汁をとった味噌汁を出しているということ。おかずは、向かいの干物屋に行って買ってくださいと、

漬物も自分で。それで、買ってきた干物は、このゲストハウスの前にガスコンロが置いてあるのですが、自分で焼いて食べてくれと。それでどういうことが起きたかというと、宿泊者がまちを歩く、歩かざるを得ない。ご飯と味噌汁だけで良いのですが、干物を見に行ったらそこに干物がたくさん並んでいるんですよね。漬物屋に行ったら漬物って１人分だけって買わないですよね。ついつい、５００円、１０００円の漬物を買って、またそれが美味しいので、お土産でまた帰りに寄って買っていくというようなことが起きてきたのです。だから、施設の利用だけに留まらずにまちを回遊する、そういう場所にこのゲストハウスがなっているという事例です。まさに、施設とまちがつながり合う事例の１つとなっていると思っています。

それからもう１つは、青森県十和田市の十和田市現代美術館といって、建物の形が非常にユニークということで、世界的にも有名になっている建物があるのですが、十和田市が推進するアートによるまちづくりプロジェクトの拠点施設として２００８年にオープンしています。１人の作家に対して、独立した展示空間を配置するということで、変わった美術館です。ただ１つのハコではなくて、小さいハコが点在しているというような配置計画で、美術館自体が１つのまちに見えるような外観になっていることが特徴です。小さいハコがパラパラっと分散しています。さらに面白いのが、道路を挟んでアート広場といって、イベントをやったり彫刻を展示したりするような広場が点在している。さらに、ストリートファニチャーといって、ベンチや照明を、アーティスティックなものを通りに並べて配置した。そうすることで、普通美術館に来て、見て、帰るではなくて、美術館自体もこんな配置ですし、いろんな仕掛けがまちの中にあるので、美術館に来た人があっちにも何かあったよねということで、まちをそぞろ歩くという現象が出てきた。まさにこういう施設整備がまちをつなぐきっかけになっているという事例です。

もう１つグランドプラザ、富山県富山市にあります広場ですが、今回のケースも道路を廃道にして広場のスペースをまたいで造ろうという計画になっていますが、ここは実は昔道路だったんですよね。ビルとビルの間にガラスの屋根をかけて、広場空間として使うようにしたんですね。ここは、商店街、アーケード街に接しています。これは２００７年に中心市街地へにぎわいを取り戻すために、ということで建設しました。運営は、まちづくりとやまという団体が運営しており、公設民営方式になります。そのグランドプラザですが、これができると同時に、これまでループ化していなかった電車をわざわざ通して停留所をつくったり、商店街に隣接するように広場を造ったんですね。この広場の中に可動式のステージが巻き上げると上がってきて、ステージになるということになります。大型ビジョンを配置したり、移動式のプランターを配置したりしてみたところ、まち中に滞留する拠点になって、人がまちに戻るようになったという効果が出てきている。こういった広場が、商店街やまちとつながって、にぎわいを取り戻したという事例です。

今回の計画は、そういった意味では道路を廃止して、広場を中心に点在する公共施設を、非常にコンパクトにまとめる計画になっていると思います。やはり商店街や民間の商業施設もありますし、マルチメディア館やぷらと、それから広場をうまく活用して、その中で飲食店などもつながっていかないと、（仮称）生涯学習センターが活きてこないんじゃないかなと思います。

この後は、皆さんと少し意見交換をしたいと思っていますが、その意見交換のテーマの１つは「施設とまちがつながり合うアイディア」について、皆さんからご意見を伺っていきたいと思います。もちろん、（仮称）生涯学習センターの機能に関するご意見もあればお聞きしていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

今回、別海町さんの方で進めている（仮称）生涯学習センターの機能を細かくホール機能、団体活動室等の、平常時の利用、災害時の活用方法ということで、細かくイメージできるように整理されていますが、そ

の下に「町民と自衛隊員等との交流促進のため検討を進める方策」として、いくつかアイディアが出されています。これを整理すると全部で１１のアイディアになります。これは全部大事だと思いますが、どこからやっていったらいいのか、全部やれたらいいなとは思っていますが、この取り組みはいいねというもの、これは是非早くやったらいいのではないかというものがあると思うので、シールを皆さんにお配りしますので、５つ選んでシール投票をしていくと、どこからやっていけばいいのかというのが少し見えてくるかなと思っています。

この後１０分ほど休憩を挟んで、後半、私どものスタッフが皆さんのテーブルに入って、今ご説明しました、施設とまちがつながり合うアイディアとしてどんなことが考えられるかということと、防衛省の補助事業ということもあるので、自衛隊員と町民の交流を進めるためにどんな取り組みを進めていったらいいのか、ということに対して皆さんと意見交換していきたいと思います。よろしくお願いいたします。

５　ワークショップ及び意見交換

（ＫＩＴＡＢＡ神長）

それでは、引き続きよろしくお願いします。これから、先ほど説明したとおりテーマが２つあります。

１つ目は「施設とまちがつながり合うアイディア」について、もう１つは「町民と自衛隊員との交流促進のアイディア」を話し合っていただきたいと思うんですけれども、２時５０分までテーマ１、その後２０分間、３時１０分まで テーマ２、で話し合いをしていただきたいと思います。

－ワークショップ－

■各グループのまとめ

グループ１

テーマ１：施設とまちがつながり合うアイディア

○周辺土地の一体的利用

・まち全体を見れば、今の場所でいいと思う。
・駅があったことを想定すれば良いと思う。
・隣接地を一体的に活用してはどうか。
・別海高校の魅力向上のためにたまり場になるようにしたい。
・高校生や学生の参加で継続的な活用を考える。
・高校生が楽しみ歩き学べるようなまちなみにしたい。
・高校生に学習の場をつくって、まちを知ってもらう。（無料 wifi）
・駐車場の堆雪スペースが必要ではないか。
・学校活動とは別に子ども達が自主的に考える場があれば良い。

○河川敷とつなぐアクセス設定

・昔の駅、路線を意識して、駐車場や散策路にするのはどうか。

○周辺の駐車場の有効活用

・民地の駐車場も障害物を取って一体的に利用できないか。
・マルチメディア館の裏の公地を活用してはどうか。

○土地集積と、平面化と、動線の整理

・河川敷の活用も考えてはどうか、アクセスルートなど。アプリを活用する。
・人道橋と動線の連続を考える。
・バスルートが施設を分断している。
・歩く理由がないので、歩いていて楽しくなるような工夫が必要になる。
・可動式の客席とし、音のでないものにしてほしい。

○３つの施設のタイアップ連携

・駐車地が数か所に分かれているため、連携した活用をしたい。
・広場の屋根化で年中利用できる広場にしたい。

○周辺商業施設の取り込み・巻き込み

・商工会に入っているお店をうまく取り込むことが必要になるのではないか。
・お祭りなども駐車場がなく、使いづらい。
・今やっているものをもっと拡大して町民も参加できるようにしたい。

・まちづくりのＮＰＯがあると良い。活用する。

〇鉄路の歴史を活かす、散策路をつなぐ

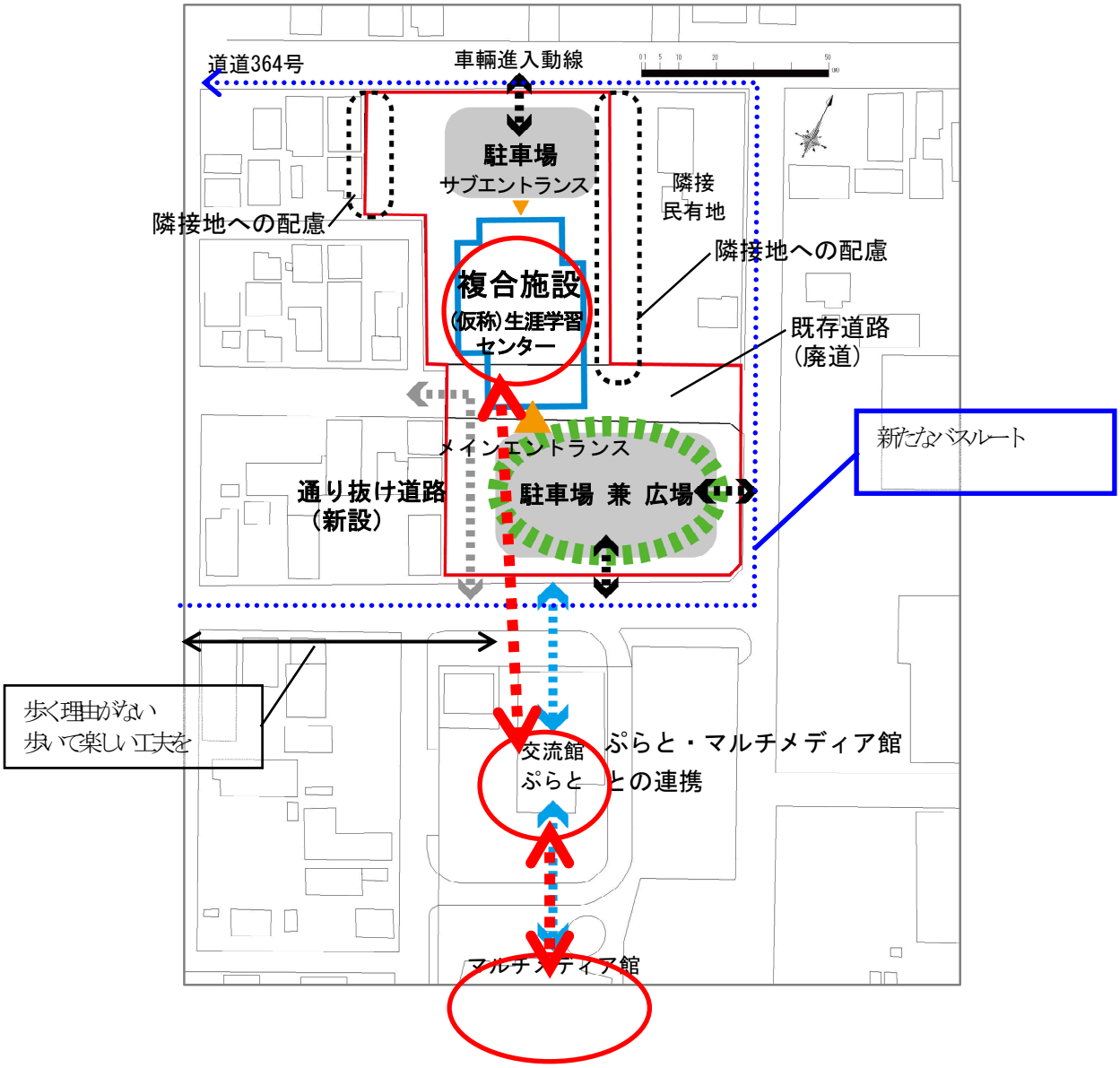
・飲食店があるので、花火やイベントに使いやすい。

・鉄道の歴史を語る場にもなる。

・昔からある自治体と図書館とつなぐと文化的になって歴史を語ることができる。

〇動線（バス）、駐車場の連携・見直し

・バスレーンの設定の見直しをする。



テーマ２：町民と自衛隊員等との交流促進のアイディア

アイディア	いいね！
1.自衛隊音楽隊の演奏会	●●●●●● 7
2.自衛隊活動(災害派遣等)の報告、講演会	●●● 3
3.自衛隊員及び家族と地域住民との交流 ・訓練、体験すべて関連させていく。	●●●● 4
4.地域の小中高生への演奏指導、音楽教室	●●●●●● 5
5.自衛隊員によるボーイスカウト教室	●●●● 4
6.自衛隊員や家族の絵画等の作品の展示	
7.自衛隊とボランティア団体との災害連携訓練 ・一般の人に広げられていない。楽しめるイベントにしたい。	●●●●●● 7
8.自衛隊活動、災害対策関連図書の設置	
9.臨時的にエントランスや駐車場(広場)を活用した自衛隊員に別海町PR するための物販スペース	
10.臨時的にエントランスや駐車場(広場)の活用した自衛隊の食事メニューの試食スペース	
11.臨時的に駐車場(広場)を活用した自衛隊の仮設風呂、仮設トイレ体験	

グループ２

テーマ１：施設とまちがつながり合うアイディア

○施設内の自由に使えるスペース

・エントランスを広めにして、中高生のたまり場をつくれないか。

・使用許可のいらない自由なスペースが欲しい。図書コーナーなどで、中高生がちょっと勉強できるようにしてはどうか。

・図書館と連携して、図書返却できると良い。

・図書コーナーの本も入れ替えられるようにしてほしい。

・エレベーターがぜひ欲しい。

○緑・木かげをつくる

・緑が少ないので、街路樹があると良い。

・除雪にも配慮しつつ、みどりを増やしていきたい。

○オープンカフェのようなスペース

・オープンカフェのような半屋外スペースがあると良い。

・屋外に屋台やベンチ・机などを設置し、くつろげるスペースを設ける。

・農協前のアイスクリーム屋さんみたいなイメージがある。

・常に賑わいのあるイベントとかを開催していきたい。

○地区の景観デザインコントロール

・地区全体で看板のデザインを揃え、景観的な統一を図る。

・民間施設の色を揃え、街並みを揃えたい。

○中高生が集える場

・中高生が集える広場、無料で使える施設スペースを確保したい。

・昔、食堂サランに中高生が集まっていたがなくなった。

・想定される利用との関連性が少ない。

○ステージなど

・屋外スペースに舞台（ステージ）があると良い。

・仮設ステージにすると良い。

・中標津のしるべっとのような施設になると良い。

○高齢者も集まれる場

・現在は、高齢者も行く場所がない。

・週２回の福祉牛乳の配布時に高齢者が集まる。その際に何かできるのではないか。

・いも団子が食べられる、休める場にしたい。

〇みんなが満足できる幸せになれる

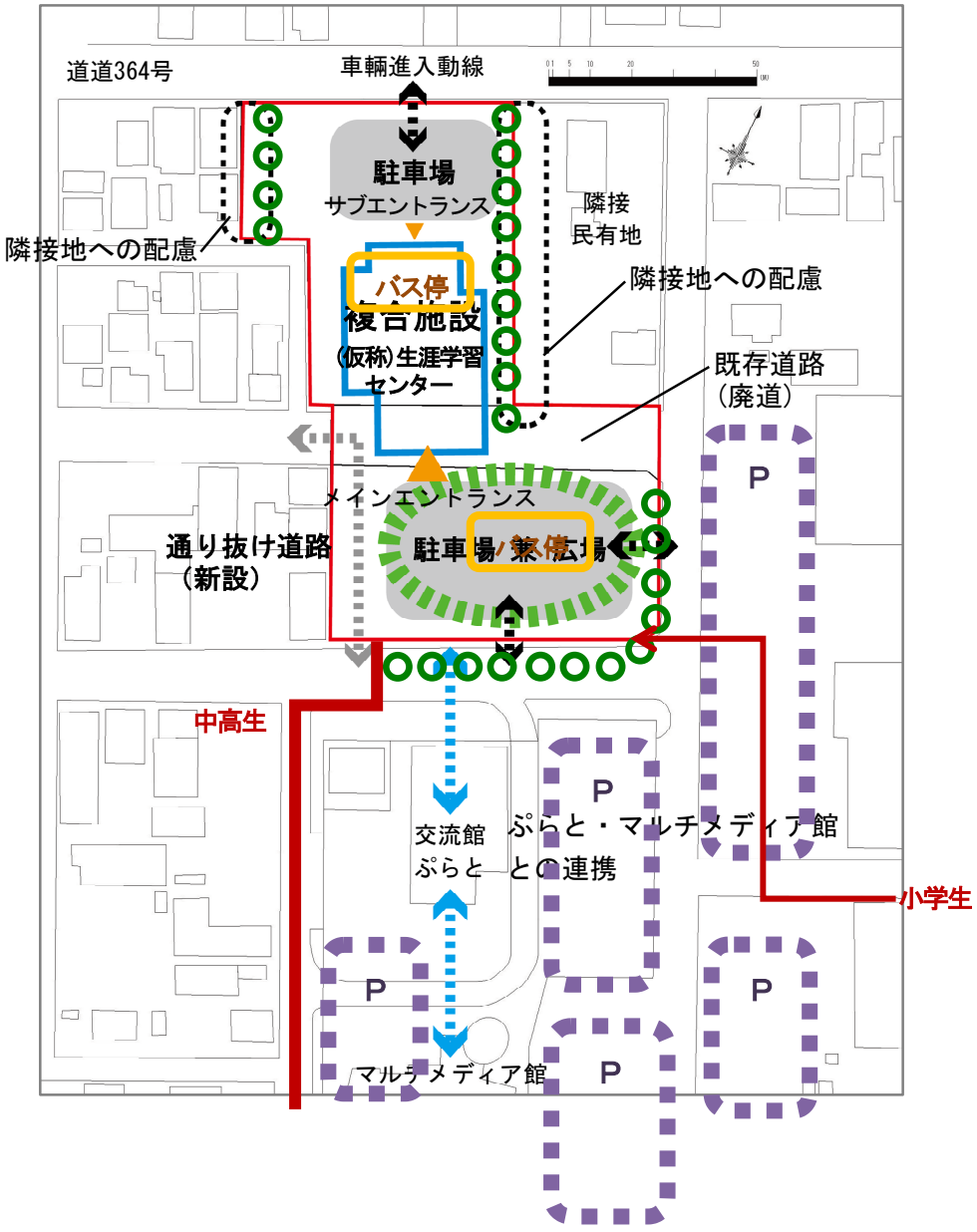
・大人も子供もお年寄りも満足感を感じられる場所になると良い。

〇「食」は重要

・周辺の飲食店の人に協力してもらって、飲食物を出してもらう。

〇駐車場

・周辺の民間施設の駐車場を借りられないか。



テーマ２：町民と自衛隊員等との交流促進のアイディア

アイディア	いいね！
1.自衛隊音楽隊の演奏会 ・レベルが高い。聞きなれた曲を演奏してくれる。	●●●●●● 6
2.自衛隊活動(災害派遣等)の報告、講演会	●● 2
3.自衛隊員及び家族と地域住民との交流 ・一般の人が自衛隊を知らないので、知る学ぶ意味で交流するとよい。 ・本州から来ている人、外国人もいる。まちが仲介して機会を増やしてほしい。	●●●●●●● 7
4.地域の小中高生への演奏指導、音楽教室 ・和太鼓の指導はすでにやっている。	● 1
5.自衛隊員によるボーイスカウト教室	
6.自衛隊員や家族の絵画等の作品の展示	● 1
7.自衛隊とボランティア団体との災害連携訓練 ・プロなので色々と教えてもらえることが多い。（日用品で作れる道具など）	●●●●● 5
8.自衛隊活動、災害対策関連図書の設置	● 1
9.臨時的にエントランスや駐車場(広場)を活用した自衛隊員に別海町をPR するための物販スペース ・リピーターになってくれたらうれしい。	●●●● 4
10.臨時的にエントランスや駐車場(広場)の活用した自衛隊の食事メニューの試食スペース	●●● 3
11.臨時的に駐車場(広場)を活用した自衛隊の仮設風呂、仮設トイレ体験	

グループ３

テーマ１：施設とまちがつながり合うアイディア

○土地の使い方、民有地

・敷地北東側の民有地を何とか買い上げできないか。

・移転地も探してどうにかしたい。一体的な利用を考えると必要である。

○広場、イベント

・ビアガーデン（夏）商工会・青年部、福祉まつり（フリーマーケット）、仮装パレード（高校生）、盆踊り（連町）を開催したい。

・広場は常設で設けるべきである。

○駐車場

・イベントの時こそ、駐車場は必要になる。

・周辺の民間施設駐車場を借りる。

・難しいと思うが、周辺駐車場と連携する。

・マルチメディア館に隣接したスペースを活用してはどうか。

○新しい（若い世代）飲食店

・パンケーキ屋、ケーキ屋（道道 369 号）、焼肉屋、ゲストハウス＋カフェがあるといい。

・連携して別海メニューの開発をするのはどうか。

○ぷらと（観光の入り口）

・一般利用者はバス待ちに利用している。

・２階の会議室は会議に利用している。

・物産品がまとまって売ってない。

・優良ドライバーの免許更新ができる。

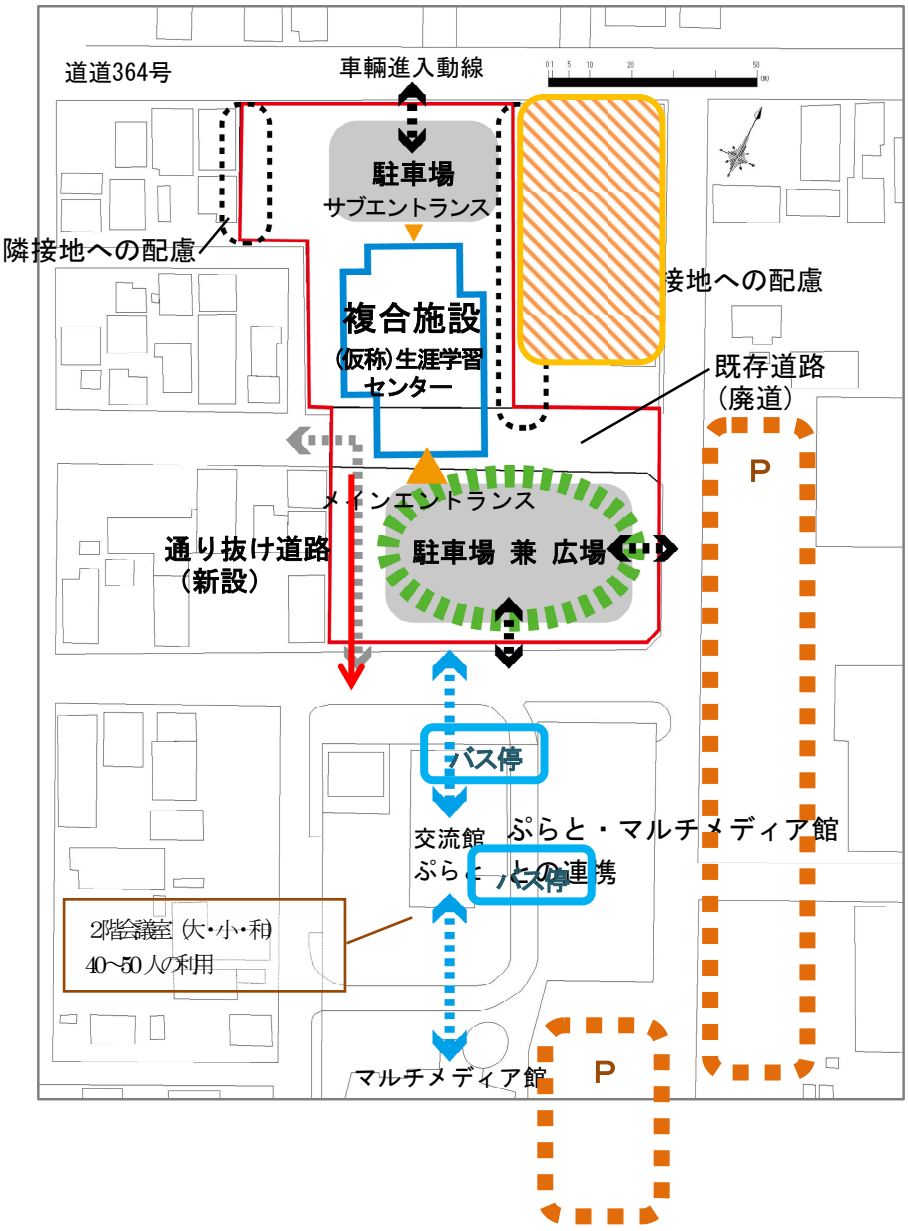
・案内してくれる「人」がいる。

○若い人の力

・商工会の事務所の観光案内カウンターを利用する。

・観光パンフレットはある。

・若い世代も計画づくりに関わる機会をつくる。


道道364号
車輌進入動線
駐車場
サブエントランス
隣接地への配慮
複合施設
(仮称)生涯学習
センター
接地への配慮
既存道路
(廃道)
P
メインエントランス
通り抜け道路
(新設)
駐車場 兼 広場
バス停
交流館 ぷらと・マルチメディア館
ぷらと バス停との連携
2階会議室(大・小・和)
40~50人の利用
マルチメディア館
P

テーマ２：町民と自衛隊員等との交流促進のアイディア

アイディア	いいね！
1.自衛隊音楽隊の演奏会 ・産業祭、自衛隊の敷地などでやっている。分かりやすいイベント。	●●●●●● 5
2.自衛隊活動(災害派遣等)の報告、講演会	●● 2
3.自衛隊員及び家族と地域住民との交流	●● 2
4.地域の小中高生への演奏指導、音楽教室	● 1
5.自衛隊員によるボーイスカウト教室	
6.自衛隊員や家族の絵画等の作品の展示	
7.自衛隊とボランティア団体との災害連携訓練 ・西別川が氾濫、小学生が取り残された設定でする。防災訓練（10月）。 ・防災の日に炊き出しなどやっている。防災食の試食。安否確認。	●●●●●●●●●●● 11
8.自衛隊活動、災害対策関連図書の設置	
9.臨時的にエントランスや駐車場(広場)を活用した自衛隊員に別海町PR するための物販スペース	● 1
10.臨時的にエントランスや駐車場(広場)の活用した自衛隊の食事メニューの試食スペース	●● 2
11.臨時的に駐車場(広場)を活用した自衛隊の仮設風呂、仮設トイレ体験	● 1

グループ４

テーマ１：施設とまちがつながり合うアイディア

○マルチメディア館

・会議で使用するくらいで、あまり行かない。

・ホールとしては広すぎず、使い勝手がいい。

・小中学生が勉強するのに利用している。

・テレワーク事業の機能を強化して新しい施設との住み分けをしたい。

○周辺の飲食店との関わり

・周辺の方々とどう考えるか。お店の方々にどう考えているかをヒアリングしていくと良い。

・ヒアリングすることによって関わりをつくっていく。協力的になるのではないか。

・老朽化しているお店ばかり（昭和 40～50 年代）で、新しく家を建てる人は郊外に建てることが多い。

○各施設の役割分担

・マルチメディア館は、情報が集中する場所、移住・定住情報が一度に見られる。

・ぷらと、物産・観光の色をもっと出す。ただの会議の場になっている。

・センターは文化交流をメインにしたい。

・周辺施設との役割分担をしっかりする。

・各団体が使うものを収納する場所がないので、作ってほしい。

・新しいホールではイスは移動式が良い。

○駐車場借りる

・駐車場が足りるのか、冬は堆雪によりさらに狭くなる。

・ぷらとの駐車場、フクハラの駐車場を少し使わせてもらう。

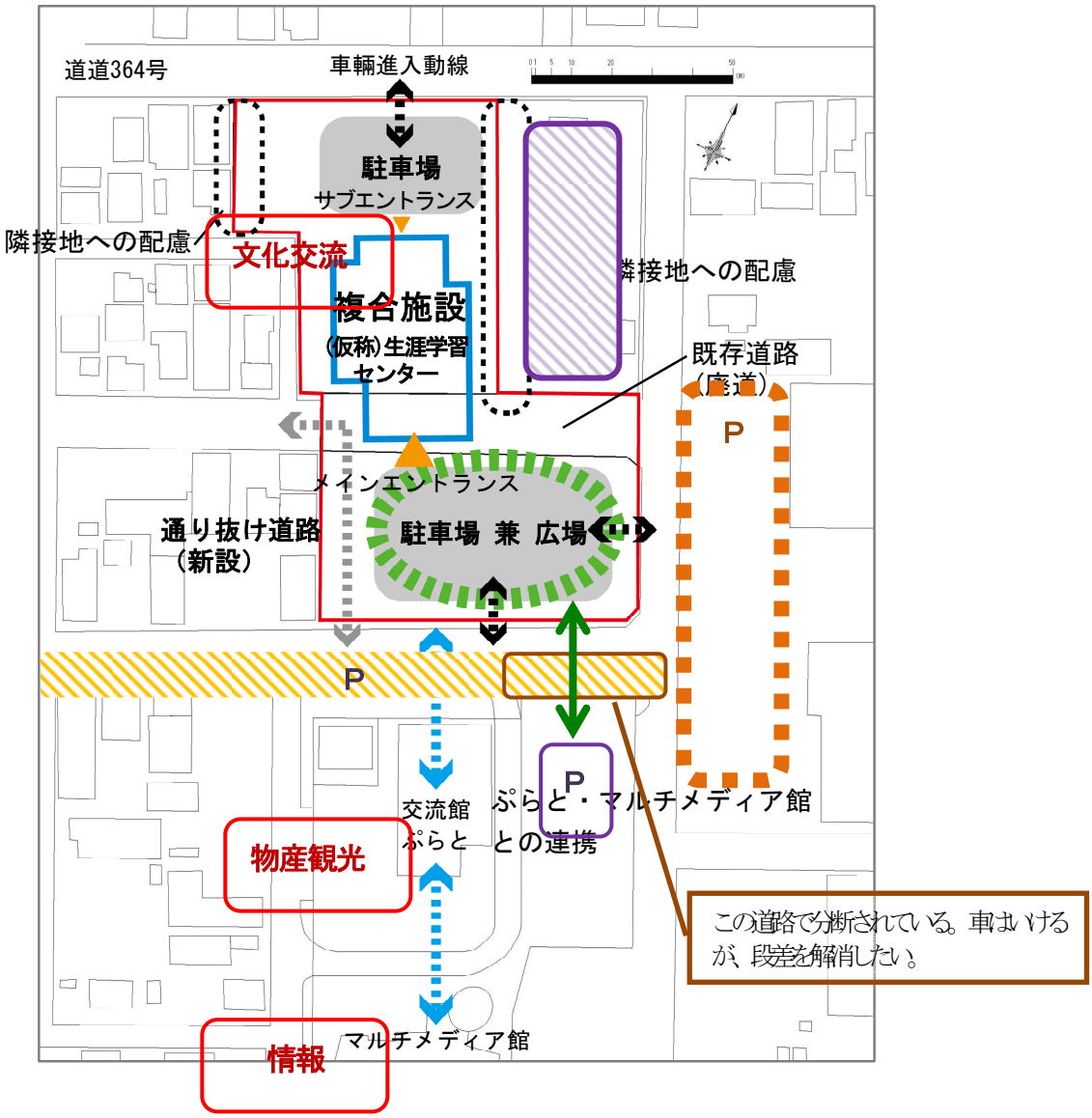
○若い人（高校生）の意見を聞く

・バスの待ち合い、若い人がたまれるようにしたい。

・若い人の意見を聞いてほしい。若い人が気楽に集まれる場所がほしい。

・休みの日は空いていないお店が多い。イベントの日だけ空いている。

・若い人はこのようなところに来ないので、高校にヒアリングに行ってはどうか。


道道364号
車輌進入動線
駐車場
サブエントランス
隣接地への配慮
文化交流
複合施設
(仮称)生涯学習
センター
隣接地への配慮
既存道路
(廃道)
P
メインエントランス
通り抜け道路
(新設)
駐車場 兼 広場
P
P
交流館
ぷらと
ぷらと・マルチメディア館
との連携
物産観光
この道路で分断されている。車両は可能だが、段差を解消したい。
マルチメディア館
情報

テーマ２：町民と自衛隊員等との交流促進のアイディア

アイディア	いいね！
1.自衛隊音楽隊の演奏会 ・カラード隊などレベルが高い。	●●●●●●● 7
2.自衛隊活動(災害派遣等)の報告、講演会	●●● 3
3.自衛隊員及び家族と地域住民との交流	●●● 3
4.地域の小中高生への演奏指導、音楽教室	●●●●● 5
5.自衛隊員によるボーイスカウト教室	●● 2
6.自衛隊員や家族の絵画等の作品の展示	
7.自衛隊とボランティア団体との災害連携訓練 ・安心安全大切、訓練のやり方など教えてほしい。	●●●●●● 7
8.自衛隊活動、災害対策関連図書の設置	●●● 3
9.臨時的にエントランスや駐車場(広場)を活用した自衛隊員に別海町PR するための物販スペース	●● 2
10.臨時的にエントランスや駐車場(広場)の活用した自衛隊の食事メニューの試食スペース	●● 2
11.臨時的に駐車場(広場)を活用した自衛隊の仮設風呂、仮設トイレ体験	●● 2
その他. ・最近の自衛隊は忙しいので、これらができるのか確認が必要である。	・演習場の中を見学できる日をつくる。

グループ５

テーマ１：施設とまちがつながり合うアイディア

○施設配置

・複合施設を南側に寄せてぷらと・マルチメディア館を全天屋型の屋根でつなぐ。
・障がいのある人も安心して往来できるようにしたい。
・防災の観点から広場は一か所に集約した方が良いのではないか。
・周辺の私有地を活用できるかによって施設配置もかわるのではないか。
・福祉の事務機能はぷらと等に集約して、複合施設内は交流機能を増やしてはどうか。
・物産館はフクハラを活用、地元食材を使ったレストランは周辺の飲食店と協力してはどうか。

○広場

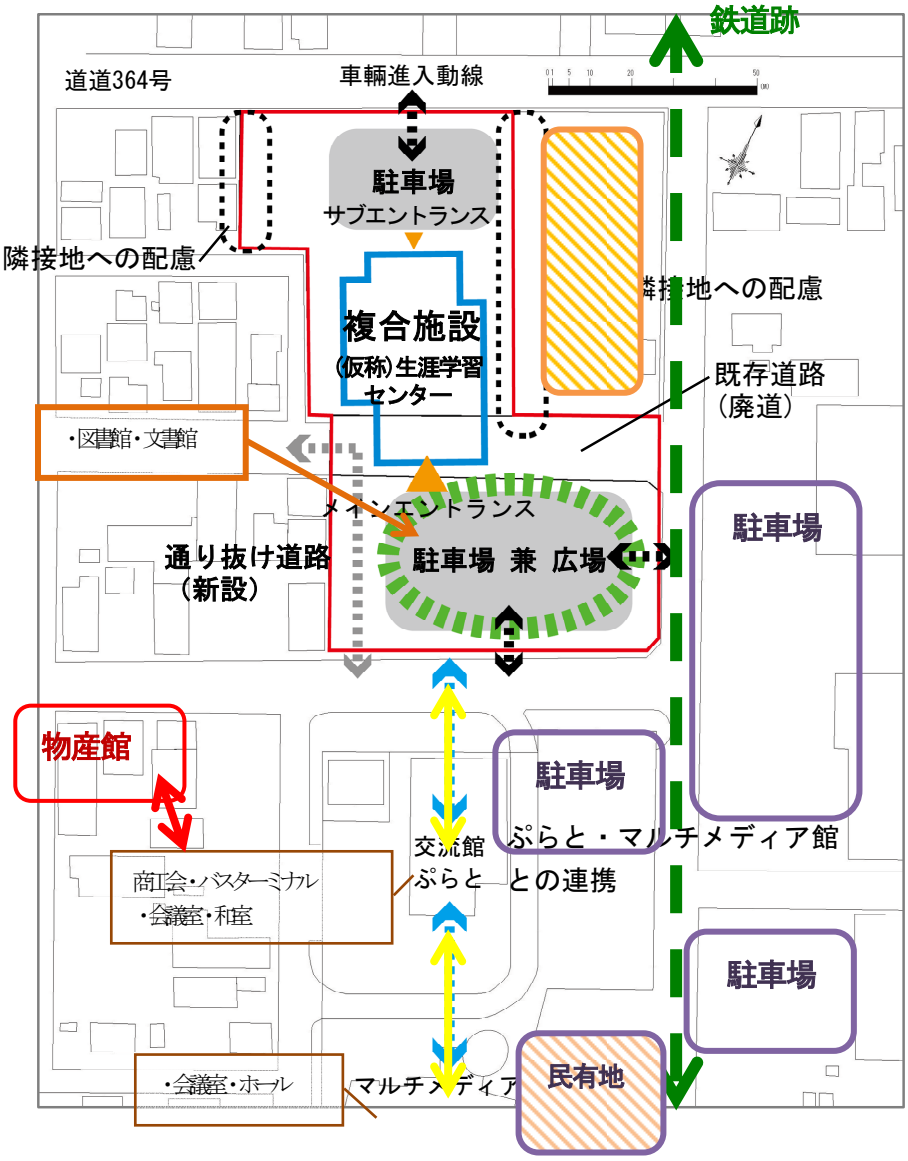
・現在も広場でイベントを開催している。
・今後のソフト面や活用方法の検討が重要になる。
・整備後も様々な団体で利用してもらうことで、交流や相乗効果が生まれる。
・商工会、観光協会、子育て世代などが利用する。

○機能の整理

・図書コーナー（図書館機能）を複合施設に入れられないか。
・図書館を複合施設に移動して、郷土資料館を現在の図書館に移動するのはどうか。
・防衛の補助の関係もあるので難しいのではないか。
・もう少し既存施設を有効活用した方が良い。

○周辺施設の活用

・複合施設の建設を契機として、ぷらと・マルチメディア館の活用を図る。
・マルチメディア館、講演などで利用されている。
・鉄路跡、整備して歩きやすくし、複合施設と図書館周辺をつないではどうか。


鉄道跡
道道364号
車輌進入動線
駐車場
サブエントランス
隣接地への配慮
複合施設
(仮称)生涯学習
センター
隣接地への配慮
既存道路
(廃道)
・図書館・文書館
メインエントランス
通り抜け道路
(新設)
駐車場 兼 広場
駐車場
物産館
駐車場
交流館
ぷらと
ぷらと・マルチメディア館
との連携
商工会・バスターミナル
・会議室・和室
駐車場
・会議室・ホール
マルチメディア
民有地

テーマ２：町民と自衛隊員等との交流促進のアイディア

アイディア	いいね！
1.自衛隊音楽隊の演奏会 ・産業祭に今も呼んでいる。	●●●●●● 6
2.自衛隊活動(災害派遣等)の報告、講演会	●●●●●● 5
3.自衛隊員及び家族と地域住民との交流	● 1
4.地域の小中高生への演奏指導、音楽教室	●●●●●● 6
5.自衛隊員によるボーイスカウト教室 ・参加型は小学生に人気がある。講師として自衛隊員に来てもらう。	●● 2
6.自衛隊員や家族の絵画等の作品の展示	●●● 3
7.自衛隊とボランティア団体との災害連携訓練 ・消防も一緒に訓練してはどうか。	●●● 3
8.自衛隊活動、災害対策関連図書の設置	● 1
9.臨時的にエントランスや駐車場(広場)を活用した自衛隊員に別海町PR するための物販スペース	●● 2
10.臨時的にエントランスや駐車場(広場)の活用した自衛隊の食事メニューの試食スペース	● 1
11.臨時的に駐車場(広場)を活用した自衛隊の仮設風呂、仮設トイレ体験	

６　閉　　会